

当社が1985年に世界初のラップトップPC (パソコン) T1100を発売してから、今年で30年になります。その間、常に最新の技術を取り入れながら、革新的な商品を数多く市場に送り出してきました。

2014年度モデルでは、七つの利用スタイルを実現し、クリエイティブな作業を可能にしたdynabook KIRA L93^(注)や、シミュレーション技術を駆使して低価格ながら高品質のdynabook Satellite R35、部品レイアウトの最適化によって駆動時間を維持しつつ薄型化したdynabook T85/T75/T65/T55シリーズ、新開発のアクティブ静電結合方式デジタイザを搭載した普及価格帯のペンタブレットdynabook Tab S90/S80、世界で初めて超高精細 (UHD) の4K (3,840×2,160画素) 液晶ディスプレイ (LCD) を搭載したdynabook T954、業界で初めてUHD 4K LCDを搭載した企業向けモバイルワークステーションdynabook Satellite WS754などの新商品を市場投入しました。

しかし、ノートPC市場の縮小や新興国メーカーの台頭など、PC事業を取り巻く環境は変化が激しく、継続的に利益を確保するためにはB2B (企業間の取引) ビジネスやクライアントソリューションビジネスの強化が必要になっています。今後、成長が見込まれるIoT (Internet of Things) 分野においても、PC開発で長年培ってきた差異化技術を活用し、新たな事業モデルを構築していきます。

(注) ハイライト編のp.27に関連記事掲載。

統括技師長 柏木 和彦

● dynabook Satellite R35



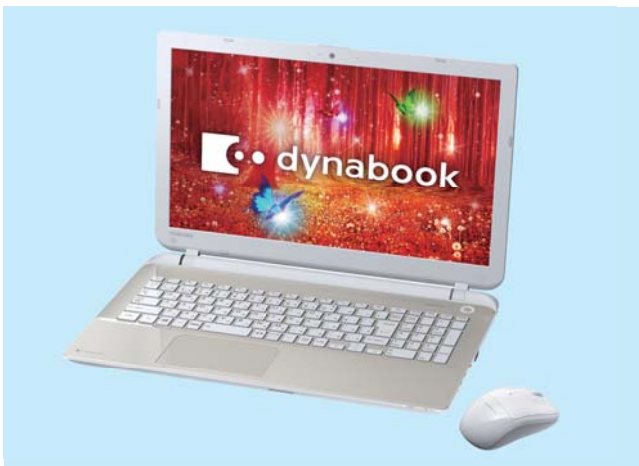
dynabook Satellite R35
dynabook Satellite R35 notebook PC for enterprise use

薄型、高品質、及び長時間バッテリー駆動に加えて、ビジネスノートPCとしての使いやすさを追求した15.6型LCD搭載のdynabook Satellite R35を商品化した。

ビジネスノートPCの原点に立ち返って薄さと品質を設計段階から追求し、薄型筐体 (きょうたい) にフルサイズのテンキーを搭載するなど、快適な操作性を実現した。また、当社独自のシミュレーション技術を駆使して、従来機種と同等以上の機能を少ない部品点数で実現したことで、品質と信頼性を高めながら、顧客が求めやすい価格での提供を可能にした。

これら差異化技術の投入により、企業のIT (情報技術) マネージャーの要求に応える製品を実現した。

● スタンダードノートPC dynabook T85/T75/T65/T55シリーズ



dynabook T85/T75/T65/T55シリーズ
dynabook T85/T75/T65/T55 series standard notebook PC

薄型で、かつ高画質と高音質を追求したdynabook T85/T75/T65/T55シリーズを商品化した。

バッテリー駆動時間を維持しつつバッテリーを小型化し、主要部品のレイアウトを見直すことで、コストを抑えつつ厚さを従来機種^(注1)に比べ最大約30%削減した。また、フルHD (1,920×1,080画素) IPS (In-Plane Switching) LCD^(注2)とオンキヨー (株) 製ステレオスピーカーを搭載し、高画質と高音質を追求した。HDMI[®] (High-Definition Multimedia Interface) ポートからの4K出力にも対応し、4K対応テレビで高精細な映像を視聴できる。更に、HDD (ハードディスクドライブ) の大記憶容量とSSD (ソリッドステートドライブ) 並みの高速アクセスを両立した当社製1T (テラ: 10¹²) バイトSSHDD (ソリッドステートハイブリッドドライブ)^(注2)の搭載で快適な操作性を実現した。

(注1) 当社T453シリーズとの比較。

(注2) T85/T75に搭載。T65/T55はHD LCD及びHDDを搭載。

● dynabook Tab S90/S80

業界初^(注)となるアクティブ静電結合方式のデジタイザを搭載し、紙に書くように思いどおりに小さな文字を書くことができ、ビジネス用に性能を高めながらリーズナブルな価格を実現した、Windows[®] ペンタブレット dynabook Tab S90/S80を商品化した。

ビジネス用に独自開発した3種類のアプリケーションとして、1,000冊×1,000ページのノートに記載できる“TruNote”，カメラで撮影したホワイトボードや資料などの画像を補正して取り込む“TruCapture”，及び会議の音声を可視化して議事録作成を支援する“TruRecorder”を標準で搭載した。また法人向けに、(株)NTTドコモの高速データ通信サービスXi^(注)(クロッシィ) 対応モデルもラインアップし、S90ではカバータイプのキーボードを用意したことで、タブレットながら従来のPCと同じような創造的・生産的作業にも適している。

(注) 2014年11月時点、当社調べ。



dynabook Tab S90/S80
Encore 2 Write 10-inch tablet

● 4K動画を視聴できるノートPC dynabook T954

ノートPCで世界初^(注)となるUHD 4K LCDを搭載したdynabook T954を商品化した。

dynabook T954では、当社製液晶テレビ レグザに搭載されている“レグザエンジン CEVO 4K”の技術をPC向けに最適化するなど、当社保有の先進技術を投入することで新しい画像・映像体験をユーザーに提供できるようにした。更に、ハリウッド映画などで多用されているテクニカラー社の認証を受けた色彩を基準として、製造ラインで1台ごとに色調整を実施することにより、個体差を吸収するとともに高い精度での色再現性を実現した。

(注) 2014年6月時点、ノートPCとして、当社調べ。



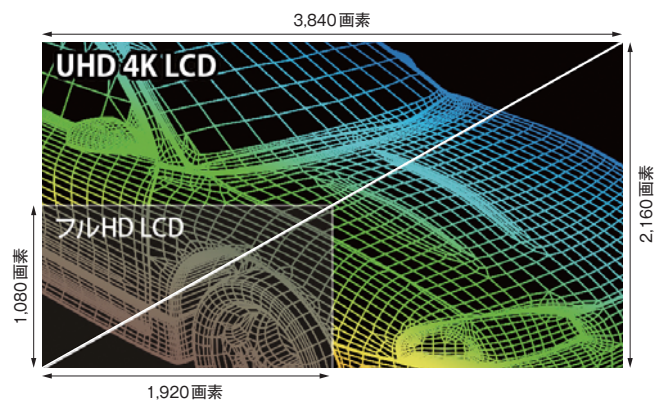
dynabook T954
dynabook T954 notebook PC equipped with 4K UHD LCD for entertainment use

● UHD 4K LCDを搭載した企業向けモバイルワークステーション dynabook Satellite WS754

住宅・製品設計や、映像制作、教育や医療などの専門分野では、3次元CADをはじめ、高度なアプリケーションを用いた作業には高い演算処理性能及びグラフィック処理性能を持ったワークステーションが必要である。

今回商品化したdynabook Satellite WS754は、これらのアプリケーションを快適に操作できるだけでなく、クライアント先や会議室などのモバイル環境でも、高いパフォーマンスを実現できる業界初^(注)のUHD 4K LCDを搭載した企業向けモバイルワークステーションである。フルHDの4倍の解像度を持つUHD 4K LCDは、製造ラインで1台ごとに色調整を実施することにより、住宅メーカーやカーディーラーにおいて顧客への提案などに使われるCG(コンピュータグラフィックス)も、高精細かつ高い色再現性で表示できる。

(注) 2014年7月時点、モバイルワークステーションとして、当社調べ。



UHD 4K LCDの表示例

Example of 4K image on ultra-high definition liquid crystal display (UHD LCD) of dynabook Satellite WS754 mobile workstation for enterprise use